

入野小学校 校長室だより

2015. 11. 27(金) No. 27 文責：芝

難問だけど見て下さい

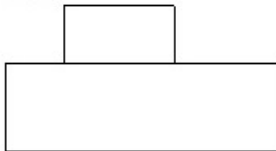
先日『校長室だより』で、「今ある登り棒、ブランコ、すべり台が撤去になる」とお知らせしましたが、撤去になる日が決まりました。「12月3日の午前中」だそうです。今の遊具に深い思い出のある方は、それまでに別れを惜しんでください。

これからご紹介するのは子どもたちに関係する話題ですが、たぶん、多くの方が読み飛ばしたくなる内容です。今すぐ読まなくてもいいですので、いつかはお付き合いください。

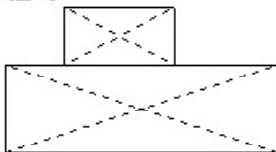
6年生が受けた全国学力調査で、本校の6年生が大苦戦した問題が次の問題です。

【問題】 (1)から(4)のようにすると、図4のオとカの面積は等しくなります。なぜ、オとカの面積は等しくなるのですか。
そのわけを、アからカまでの記号を使って書きましょう。

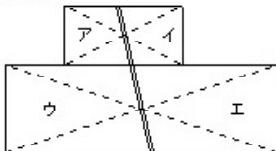
【図1】



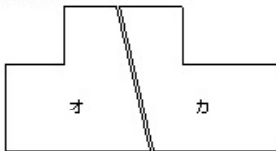
【図2】



【図3】



【図4】



※手順(1)～(4)は省略しています。

※前段で長方形の面積は対角線の交点を通る直線で二等分されることが説明されています。

※ア～エは三角形ではなく、長方形を分割してできた四角形をさしています。

いかがでしょうか。印刷が見にくいので前段の説明部分を省略していますので、更に分かりにくい問題になっていますが、そんな悪条件が無かったとして

も難しい問題です。後になって説明を聞けば「ああ、確かにそうなるね」という気にはなりますが、いざ、自分自身が「そのわけを書いてください」と言われる立場になると、大人でもすぐに書ける人の方が断然少数派だろうと思います。ですから、本校の6年生だけでなく、全国的に“大苦戦”でした。

この問題は、4年生と5年生にも紹介しました。4年生はまだ面積を学習していない時期でしたので少し無理があったと思いますが、その時は両学年とも次のような説明で概ね納得してくれたように感じました。

【説明】

図3で、アの面積とイの面積は等しくなります。ウの面積とエの面積も等しいです。

図4のオは、図3のアとウを合わせた図形で、カは、イとエを合わせた図形です。

同じ面積の図形を合わせているので、オとカの面積は等しくなります。

このように「説明する」という問題が、毎年全国学力調査に出題されるということは、「簡潔に説明する力を付けてくれ」という社会からの要請があることを示していると言えます。ですから、私たちも、それに対応することが必要です。教えただけで身につくこととは思えません。育てていくことが必要な、難しい問題だと思います。

これからの向上を期待して

子どもたちの学力状況をお知らせします。1学期はじめに行った標準学力検査(2～5年生)と全国学力調査(6年生)の結果で、全国平均を「1」とした時の本校の数値です。

	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	0.97	0.87	0.80	0.96	1.04
算数	1.02	0.91	0.90	0.91	0.98

厳しい状況がありますので、日々の授業を努めて複数教職員で行うなどの取組を強化しています。まず大切なのは「学習に対し当たり前前にすべきことは当たり前前に」です。これからの向上を期待しているところです。